

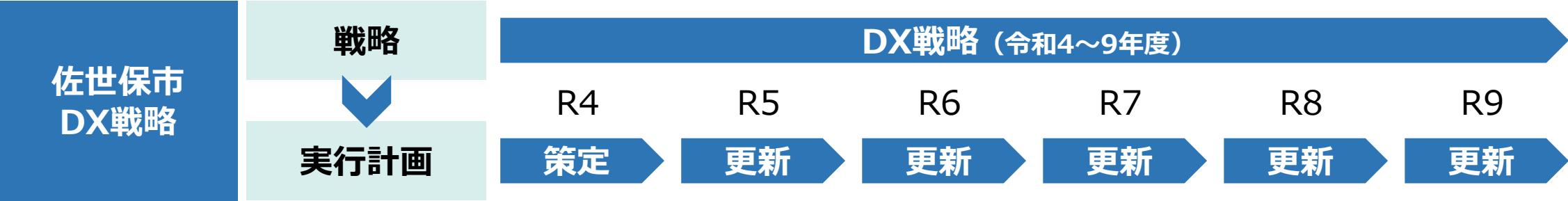
佐世保市 DX戦略 実行計画

令和7（2025）年度版
佐世保市

実行計画の概要

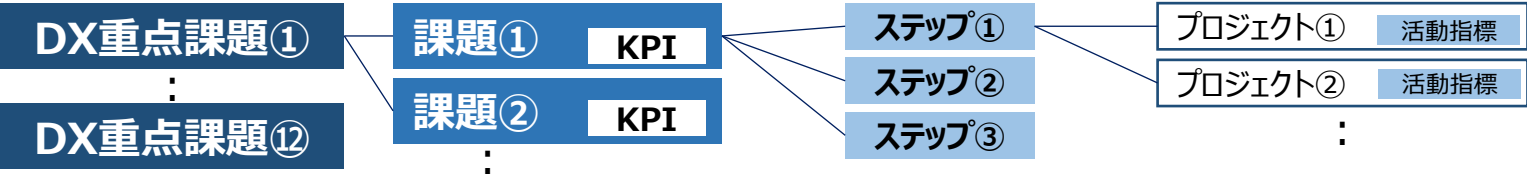
(1) 実行計画の位置付け

本計画は、「佐世保市DX戦略」（以下、「戦略」という）の下位計画として位置付け、戦略に定める12のDX重点課題を解決するための具体的な施策を取りまとめたものです。戦略の期間中、各施策の進捗状況や、技術革新等、環境の変化を踏まえた柔軟かつ的確な事業展開を実現することを目的として、令和9年度まで毎年度更新して策定します。



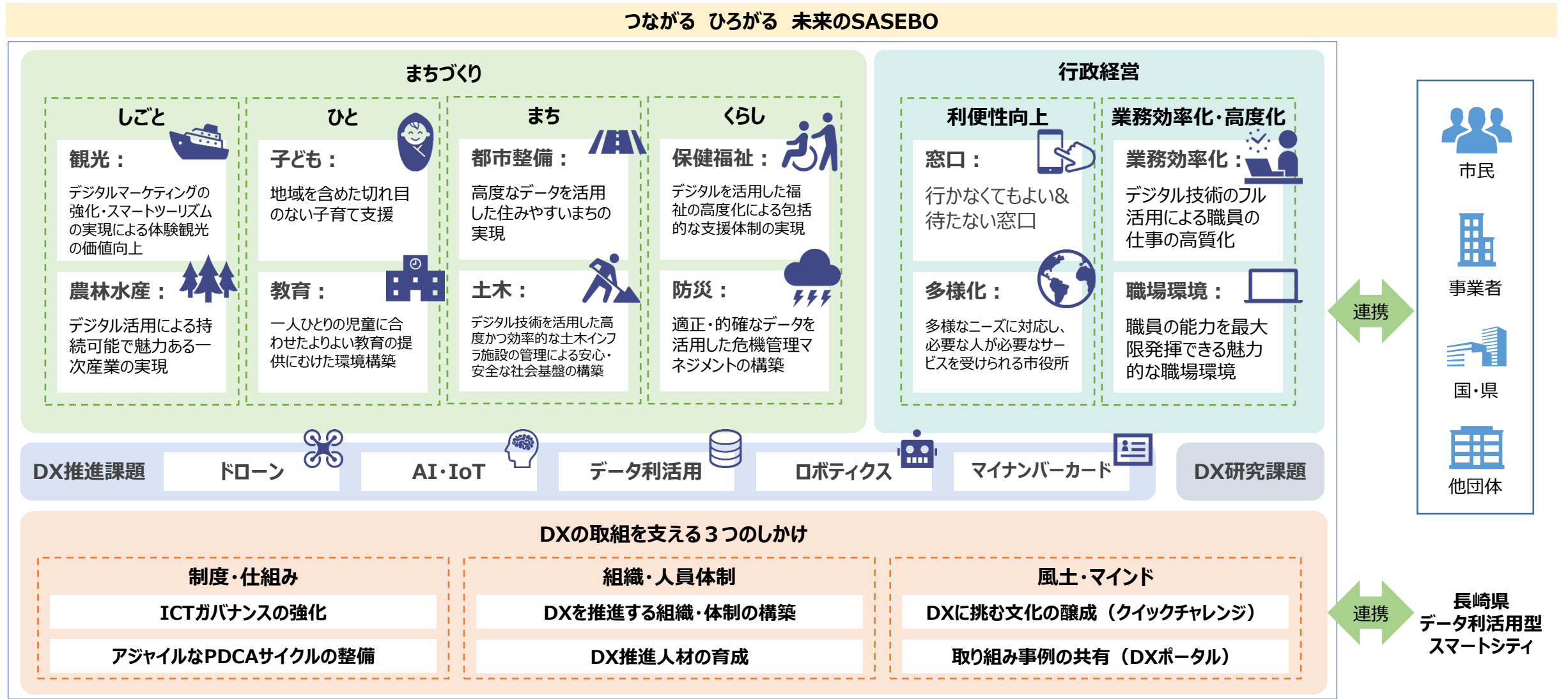
(2) DX戦略の進捗管理

- 本計画では、DX重点課題（戦略上注力する分野と重点的に取り組む課題）ごとに2～3つの「課題」を設け、DX重点課題の達成状況を測るため、それぞれの課題ごとにKPIを設定します。
- また、それぞれの課題を解決するため、「ステップ」（課題を1～3つの段階に分割したもの）を設け、各ステップに1つ以上の「プロジェクト」（ステップの達成のために導入するシステム等）を立て、ステップの達成状況を測るため、それぞれのプロジェクトごとに「活動指標」を設定します。
- これら課題のKPIとプロジェクトの活動指標の達成状況により進捗を管理し、戦略を推進していきます。



DX戦略の全体像

国・県の方針や最新の技術動向、本市の政策課題や地域課題、行政課題等の現状を踏まえ、市の成長や市民サービスの向上の実現に向けて、戦略上注力する分野と重点的に取り組む課題を設定しました。



凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01【観光】デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
データ活用による戦略策定と観光力強化	1-1 政策検討に必要なデータの取得・分析						■観光客に関する様々なデータを収集・分析し、潜在的観光客も含めたニーズ動向把握を行い、データに基づいた観光戦略の策定ができています。 ■観光客のニーズ等に関するデータを活用することで、観光地としての対応力を強化し、観光客満足度の高い観光地となっている。
	【観光1-1-4】コンベンション協会業務デジタル化支援						
	【観光1-1-5】混雑状況可視化サービス						
	【観光1-1-6】人流データを活用した行動分析						
	【観光1-1-7】SNSデータのAI分析による観光計画						
	1-2 データに基づいた戦略の策定						
	【観光1-2-1】データ共有プラットフォーム						
	【観光1-2-2】データ分析による需要予測						
【観光1-2-3】旅行者オンライン購買データ解析による未来予測							
1-3 事業者と連携した地域の観光力強化							
【観光1-3-1】事業者等との情報共有							
デジタルプロモーションの推進	2-1 既存素材のデジタル化によるプロモーション強化						■デジタル技術を活用したマーケティングやプロモーションを実施することで佐世保市の魅力をよりわかりやすく伝え、実際に現地を訪れる観光客が増加している。 ■デジタル技術等の活用により、既存の観光資源の魅力を最大化し、より楽しめる観光体験を提供できている。
	【観光2-1-2】デジタルパンフレット						
	【観光2-1-3】プロモーション動画を起点とした呼び込み						
	【観光2-1-4】デジタルマップの活用						
	【観光2-1-5】各種商品券の電子化						
	2-2 新たな技術を活用したプロモーションの推進						
【観光2-2-1】デジタルトラベルガイドの導入							
最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	3-1 政策検討に必要なデータの取得・分析(再掲)						■データを活用した観光客それぞれに合わせた観光ルートの提示などにより、まちなかを起点とした周遊観光の強化や、滞在型観光を推進することで、観光客の満足度向上だけでなく、地域経済にも貢献している。
	3-a-2 メタ観光ニーズへの対応						
	【観光3-a-2-1】AIを活用したメタ観光ルートの提供						
	3-b-2 最適な移動手段情報の提供						
	【観光2-b-2-1】周遊観光促進のための一元的な移動手段情報の提供						

R7年度の目標(総括)

マーケティングレポートの公表を引き続き継続し、市内事業者におけるデータ活用を推進するために、事業者向けのセミナーやヒアリングを行い、マーケティングレポートをニーズに応じた内容に改めていく。
多言語化されたデジタルパンフレットやSNS広告を活用し、国内外の観光客を誘客すると共に、令和6年からSTLOCALへ掲載するモデルコースやおすすめの観光モデルの新規記事の作成を行い市街地以外への周遊を促す。

R7年度の事業総括

目標

1	データ活用による戦略策定と観光力強化	マーケティングレポートの公表を引き続き継続すると共に、人流データや既存の観光調査データをクロスさせ分析・検証することで、地域内の状況を把握し、独自の戦略の立案に繋げる。 マーケティングレポート活用のためのセミナーを開催することで市内事業者のデータマーケティングについての意識の醸成を図る。
2	デジタルプロモーションの推進	これまでに針尾無線塔、山ノ田貯水池、岡本貯水池等におけるxRの導入を文化財課等と協力しながら行っており、引き続き、その他の施設での導入の可能性を検証する。
3	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	令和6年度にMaaSアプリ STLOCALへ掲載したモデルコースやおすすめの観光モデルについて、令和7年度は情報更新および新規記事の作成を行う。 記事の作成に当たっては、佐世保観光マイスターへ依頼することで、広く認知されていない観光地や飲食店の魅力の情報発信を行う。 また、公式HPやSNS等を活用しPRを行うことで、MaaSアプリ利用者数増加を図る。

【R7】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

01【観光】デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	データ活用による戦略策定と観光力強化	データを活用した事業立案数	予定			5	6	7	8	8	事業提案の際には事前に市場調査等を行いデータに基づく展開を行うこととしている。新規事業の提案数として5件程度とした。R6以降は1件ずつ増加させ、年8件を目指す。	引き続き、事業効果検証のために、事業関連施設における入込客数の前年度比較や新規事業の企画、立案時のターゲット層の確認、本市における課題の解決に向けた仮説等の検証に活用している。
			実績			7						
		民間事業者へのオープンデータ提示数	予定			3	5	7	7	7	宿泊施設をはじめとする観光関連事業者に対し、市が提供する観光関連データ分析結果のダッシュボード数 ※ R5は、人流データに関する旅行者動向に関するダッシュボードを3種類から始める ※ 発地、属性、季節性などを想定	マーケティングレポートとして月に1回の頻度で作成、公開している。 マーケティングレポートは佐世保観光コンベンション協会や佐世保市ホームページにて公開するとともにコンベンション協会の賛助会員等に対してメール配信や旅館ホテル協同組合等に紹介を行い周知に努めている。 また、事業者向けにマーケティングレポート活用についてのセミナーを予定している。
			実績			13						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	デジタルプロモーションの推進	デジタル化されたプロモーション件数	予定	10	15	20	20	20	20	20	SNSを利用したプロモーションは現在も10本程度実施しており、今後はターゲットを細かく設定して件数を伸ばす。	SNSを利用してイベントやツアー等のプロモーション設定を可能な限り行っている。
			実績	10	16	20						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
3	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	観光ルートのアクセス数/利用者数	予定	25,000	27,500	30,000	33,000	176,000	184,000	193,000	令和5年度のモデルコースのサイト閲覧数が令和4年と比較し5%増であったため、令和7年度から令和6年見込みの毎年5%増を見込む。	コロナの影響により減少していた観光客が本格的に回復している令和6年度において新規モデルコースを作成することで、サイト閲覧数の増加を図る。 KPIの設定は実績が想定より多かったため、実績に近い数値で再設定。
			実績	55,584	151,246	160,116						

【R7】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01「まちづくり」

02【農林水産】デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
担い手の確保・継続・育成			1-1 新たな担い手の参入促進 【農水1-1-1】担当者等によるオンライン相談や回答サービス 【農水1-2/3-1】デジタルを活用したコミュニティ交流の強化				■新規参入者向けのサポートをオンライン含め充実させることで、新規参入者が不安なく、安心して農林業・漁業に取り組めている。 ■コミュニティ交流の強化により、新規参入者が地域とより繋がることで、共助の関係性を構築できている。
生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現		2-1 農業・漁業のスマート化推進 【農水2-a-1/2-1】農畜産業スマート化・高品質化支援事業補助金(スマート化支援) 【農水2-a-1/2-1】IoTを活用したスマート畜産 【農水2-a-1/2-3】農薬散布用ドローン等 【農水2-b-1/2-1】IoTを駆使した給餌管理 【農水2-b-1/2-2】AI活用による漁獲量向上 【農水2-b-1/2-3】データ活用による漁獲量予測 【農水2-a-3-1】生産者への情報共有のデジタル化					■デジタル技術を活用することにより、生産性を向上させることで、収入面の安定や向上が実現できている。 ■生産物の強みを可視化し、付加価値を高め、佐世保市の農林水産業のブランド化や所得向上が実現できている。
安心・安定して生産できる環境の整備		3-1 鳥獣/赤潮被害の軽減 【農水3-1-1】有害鳥獣被害防止対策 【農水3-a-1/2-2】赤潮監視対策事業					■ICT等を活用することで、鳥獣対策や赤潮等の生産リスクが最小化された環境を実現できている。

R7年度の目標(総括)

【農業】スマート機器導入においては、新たな品目において要望があるなどスマート化への関心が高いことから、引き続き支援を行う。
 【監視装置】テレメータによる赤潮の早期検知システムを継続して運用し、安心安定して生産できる環境整備を引き続き行う。
 【漁業】R6に引き続き、水産センターでの調光システム及び水質センサー3台により効果検証を行う。
 【有害鳥獣】R7に開発したデバイスの試験運用の継続及び検証。

R7年度の事業総括

目標

1	担い手の確保・継続・育成	【農業】 オンライン相談は電話や対面での対応が基本だが、新規就農者や農業参入企業の利便性に繋がるようなオンライン活用の必要性について、検討していきたい。 農地の貸し借りについては現状の状態を解消できるシステムがないため、令和6年度で検討を終了とする。
2	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	【農業】「農業のスマート化推進」の4年度として、新たな品目においても要望があることから、環境制御機器等によるスマート化などを中心に次年度以降も引き続き導入に向けて検討し支援する。 【漁業】 ・水産センターでのIoTによる給餌管理実現のため、令和5年度に3基の水質センサーを導入し、実証検証を令和6年度から令和7年度にかけて行う。検証結果を踏まえ、追加の水質センサーを導入を検討する。 ・水産DXに関連する最新機器類の情報収集を引き続き行い、適宜漁協及び漁業者へ周知を図ることで、漁業者のIoT活用について進めていく。同時に会議などで聞き取りを行い、ニーズの模索を継続する。 ※これまでの事業進捗状況を踏まえると、水産DXについては漁業者の関心度にバラつきがあり、漁法によって活用できるものが限定されることから、対象となりそうな【漁協及び漁業者】と【水産DX関連企業】の間に市が入り、漁業者のIoT活用を推進を図る。
3	安心・安定して生産できる環境の整備	【鳥獣】 令和6年度までに開発したデバイスを現地で検証する。 【赤潮監視装置】 令和6年度は、長崎県内において過去最大の赤潮被害(約15億円)が発生。6月から8月上旬にかけて佐世保市周辺海域においても有害赤潮が発生したが、監視装置があることにより対策の初動が迅速化され、県内他域と比較し、被害抑制が図られたことから、引き続き設置する。

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	担い手の確保・継続・育成	新規就農 などオンライン・デジタルによる 相談数	予定	プロジェクトの検討と合わせて整理し設定する							プロジェクトの検討と合わせて 整理	-
			実績									

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	生産性・付加価値 の高い農林業・漁業の実現	IoT等を活用した農家数	予定	5	18	28	44	62	82	102	これまでの実績及び佐世保市 農畜産物全般を対象としたス mart化・高品質化支援事業の 計画	R6は新たに12戸のス mart機器導入を予定し ている。R7においてもス mart機器導入の要望が あることから、今後も事業 の周知に努め農業スma rt化を推進する。
			実績	5	18	22						
		IoTを活用した漁業者数	予定			30	40	40	40	40	漁協聞き取り	漁業者の高齢化もあり、 受入れに難色を示し普及 が十分に進んでいない。 また、アプリの潮流予測に についても漁業者から指摘 もあることから、アプリの 改良の進捗状況の確認お よび広報を続けていく予 定としている。
			実績			0						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
3	安心・安定して生産 できる環境の整備	IoTを活用した鳥獣検知箇所数	予定					3	3	3	実証実験の結果に基づき設定	-
			実績									
		IoTを活用した赤潮検知箇所数	予定		1	1	3	3	3	3	設置予定台数から算出	計画どおり実施できた。
			実績		1	1						

重点課題の進捗状況

凡例： 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01《まちづくり》

03【子ども・子育て】地域を含めた切れ目のない子育て支援

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	1-a-1 子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上						■子育てに関する手続きのオンライン化やワンストップ化により、子育て世帯の手続きの利便性の向上が実現できている。 ■子育て世帯それぞれに合わせ、子育てに関する様々な情報をプッシュ型通知などで積極的に発信することで、子育てしやすい環境が実現できている。
	【子ども1-a-1-1】オンライン対応可能な手続申請						
	1-b-1 子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上						
	【子ども1-b-1-1】プッシュ型通知(子育て応援アプリなど)の拡充						
	1-2 子育てに関する手続きのワンストップ化や情報発信との連携強化						
	【子ども1-2-1】オンライン申請利用率の向上						
地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化	2-1 新たな技術を活用した子育て支援の推進						■先進技術やデータの活用により、地域一体での子育て支援の更なる拡充と職員の業務効率化の双方を実現できている。 ■データに基づいた施策立案により、複雑化する市民ニーズへの対応を強化し、子育てしやすい環境が実現できている。
	【子ども2-1-2】オンライン相談(母子健康手帳交付、訪問相談など)						
	2-2 子育て支援に必要なデータの取得・分析						
	【子ども2-1-3】地域子ども・子育て支援におけるオンラインネットワーク化による連携						
	2-3 データ活用等による、細やかな子育て支援ニーズへの対応						
	【子ども2-2-1】子育て関連情報の一元管理						
	【子ども2-3-1】AIデータ分析による業務活用						

R7年度の目標(総括)

○「子育てに関する手続きや相談」・「窓口対応」・「情報発信」等に関し、DXコーディネータとの協議・検討を行った上で、最適な手段・対応を検討する。

R7年度の事業総括

目標

1	簡単で便利な手続きによる抜け漏れのない支援の実現	オンライン申請のさらなる活用で、効率化を目指す。 オンライン申請率の向上に向けて検討する。
2	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化	①オンライン申請の更なる活用で、効率化を目指す。 ②子育て支援の実現に向けた必要なデータの整理や取得方法・関連する規制等については、専門的な知識・ノウハウも必要であり検討していきたい。

【R7】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

03【子ども・子育て】地域を含めた切れ目のない 子育て支援

1	簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン対応手続き数	予定	16	77	90	90	95	95	95	オンライン対応可能な手続き調査(オンライン申請実施計画)に基づき設定	・オンライン申請への移行不可(1件)が判明したため、予定件数を変更(99⇒98) ・R4に事業終了3件あり。R5以降の予定・実績をそれぞれ3件ずつ減。
			実績	19	84	95						
		オンライン申請利用率	予定	10.0%	20.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	オンラインでの手続き件数／手続き総件数	対応可能なものから順次実施している。
			実績	12.1%	14.0%	29.9%						
		プッシュ型通知登録数	予定	50.0%	53.0%	57.0%	60.0%	90.0%	90.0%	90.0%	R7以降 させぼっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)／母子健康手帳新規(第一子目)交付者数(年度ごと)	母子健康手帳交付者のうち、第二子目以降の対象者は既に登録済である場合が多いことから、真に登録が必要となる対象者に限定するもの
			実績	78.0%	46.2%	45.4%						

2	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン対応相談窓口数	予定	1	2	3	3	3	3	3	相談に係る主要3事業におけるオンライン対応の計画的な実施(妊婦相談・訪問指導・乳児家庭全戸訪問)	引き続き現在の実施体制を継続する。(整備完了)
			実績	1	2	3						
		オンラインネットワーク連携施設数	予定			50	73	73	73	73	オンラインネットワーク構築に係る放課後児童クラブの施設数	令和5年度整備完了
			実績			73						

01 «まちづくり»

04【教育】一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築

凡例： 実施済 当年度実施 今後予定 検討

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	1-a モラル教育及びセキュリティの充実						■1人1台端末を活用することで、学習に関する時間や距離、環境に関する制約を排除するとともに、先進技術の活用により、個々の児童生徒に合わせた学習環境が実現できている。 ■児童生徒が課題解決過程において、整備された環境を活用した深い調べ学習による、情報収集・選択・分析過程、他者やグループの協働を通じて編集し、取りまとめた成果を発表(表現)するなどの過程を通じ、創造性や社会性を育む学習が可能となっている。
	【教育1-a-1-1】フィルタリングソフトの導入						
	1-b 教員の学びの知見の共有化						
	【教育1-b-1/2-1】学校教育ネットワーク強靱化事業						
			1-c 校務の効率化支援				
			【教育1-c-1】AIドリルの導入				
校務の効率化による注力すべき業務へのシフト	2-1 校務の効率化支援						■デジタルを活用した校務の効率化により、児童生徒に対する学習指導や生活指導等、教職員が本来注力すべき業務に注力できるようになっている。
	【教育1-b-1/2-1】学校教育ネットワーク強靱化事業						
保護者等とのコミュニケーション円滑化による学校・家庭協働での支援体制強化	3-1 保護者とのコミュニケーションの基盤の整備						■保護者等との連絡にデジタルを活用し、円滑かつ漏れのないコミュニケーションを実現することで、学校と保護者等との連携を強化し、学校・家庭・地域一体となった児童生徒への支援体制が構築できている。
	【教育3-1-1】学校・家庭間連絡システムの導入						

【R7】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01「まちづくり」

05【都市整備】高度なデータを活用した住みやすいまちの実現

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	1-1 まちづくり計画に必要となる人流情報の把握 【都市1-1-1】人流データの把握	【都市1-1-4】空き家状況の把握	1-2 SNSを活用した公共施設の情報取得と解析 【都市1-2-2】SNSを活用した公園管理				■人の流れや交通量等、日々変化するまちに関する情報や現地確認などにおいて、ICT技術を活用することによりリアルタイムで正確かつ効率的に把握し、まちの姿を可視化できている。 ■行政で活用できる基盤整備から始め、民間との双方向によるデータ活用を実現できている。
3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	2-1 3D都市モデルの活用 【都市2-1/2/3-1】3D都市モデル構築業務	2-2 3D都市モデル等を活用したまちづくり計画の高度化と市民へのわかりやすい情報発信 【都市2-2-1】3Dデータを活用したまちづくり計画の高度化					■取得したまちに関する情報を3Dモデルにて市民や事業者等へ提示・発信することで、都市計画・設計や防災等における、まちの情報をわかりやすく発信することができている。 ■データに基づく政策展開をスタンダードにし、民間との双方向での活用や、公民連携を実践できている。
データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供（市民サービス向上と業務効率化を両立）	3-1 土地利活用に関する情報提供システムの一元化 【都市3-1-1】データ共有プラットフォーム						■市民や事業者等のニーズに即したデータ提供や窓口一元化により、サービスの質の向上が実現できている。 ■データ取得する市民や事業者等に対し、関連する情報も提供するなど、データ活用を糸口にして幅広く役立つ情報が提供できている。

R7年度の目標(総括)

3D都市モデル上に整備したデータを重畳し、公表を進め、民間利用を促すとともに、行政内部における3D都市モデルの幅広い利活用を図る。

R7年度の事業総括

目標

R6までに取得したGPSデータやAIカメラで取得した人流データを活用しながら策定した夜店公園の整備計画に基づき、設計及び改修(まちなかウォークアブル推進事業)に取り組む。

なお、R7、8年度においては、夜店公園の改修期間となることから、GPSデータやAIカメラによる人流データ取得は行わない。

各種施策における課題解決に向けて、構築した3D都市モデルの利活用の庁内展開を引き続き図る。

国土交通省WEBサイト「PLATEAU View App」で都市計画関連情報を一元化しており、これを活用した窓口対応を行う。また、これらの情報を公表していることを周知し、窓口対応の負担軽減を図る。

1	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		リアルタイムで取得する情報の利用率	予定		100%	100%	100%	－	－	100%	人流・交通量データの利用率(リアルタイム情報の把握をする際、当該施策検討におけるデータ活用の必要性和有用性を必ず確認した上で、取得したデータを活用できたかどうか)	今後の施策展開に必要な施設や区域を選定し、現況や実態のデータ分析を行い、想定通りの活用ができた。 なお、R7、8年度は、取得したデータを基にした施設改修を行う。
			実績		100%	100%						
2	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		事業立案に利用可能な3Dデータを活用した事業数	予定			3	3	3	4	5	構築したデータを活用した事業や政策立案数を2年ごとに着実に増加させる。	予定通りの進捗が図れている。
			実績			3						
3	データー一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立)	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		都市計画に関するオープンデータ数	予定			5	6	7	8	9	Web上で閲覧できる情報(オープンデータ)の項目数	予定通りの進捗が図れている。
			実績			5						

重点課題の進捗状況

凡例： 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01《まちづくり》

06【土木】デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握	1-a-1ドローンの3D測量等多目的活用の実施						■ドローン を多目的に活用(空撮・3D測量等)し、i-Constructionを推進している。 ■IoT を活用した道路・河川等のモニタリングや、ウェアラブルカメラによる双方向通信により、インフラ情報のスピーディな把握が実現できている。 ■ICT 機器の活用により、インフラ施設の情報分析のための情報収集が、効率的に実現できている。
	【土木1-a-1】ドローンの多目的活用の推進						
	1-b-1モニタリングによる道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集						
		【土木1-b-1】道路冠水状況モニタリングシステム					
	【土木1-b-2】河川モニタリングシステム						
	【土木1-b-3】ウェアラブルカメラの活用						
	【土木1-b-4】道路パトロールの動画活用システム						
AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	2-1 モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析						■道路・河川等のモニタリング により、緊急時の対応の迅速化が実現できている。 ■インフラ情報をAI技術等により分析 を行い、冠水・浸水の未然防止及び予防保全の高度化並びに渋滞対策や改良箇所の抽出などが実現できている。
	【土木2-1-2】道路パトロールデータのAI分析						
		【土木2-1-3】WEBアプリケーション等を活用した市民による道路損傷通報					
				【土木2-1-1】冠水・浸水予測システム			
		2-2情報分析に基づくインフラ管理の高度化					
			【土木2-1-4】データ共有プラットフォームによるデータ管理				
インフラ情報のリアルタイム発信		3-1市民へのインフラ情報のリアルタイム発信					■IoT の活用により取得した道路・河川等のモニタリングデータをホームページなどにより、市民に対してリアルタイム発信(公開)が実現できている。
		【土木3-1】ホームページ等による情報のリアルタイム発信					

R7年度の目標(総括)

「インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握」として、ドローンによる3D測量等や道路モニタリングの運用を行いながら、AI技術等を活用したインフラ情報の分析や管理の高度化について研究を行う。

R7年度の事業総括

目標

1	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	ドローンによる3D測量等の多目的活用を実施するとともに、冠水状況の道路モニタリングを行うことで、インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握を行う。
2	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	道路パトロールデータのAI分析を実施する。冠水浸水予測システムは、R6年度に引き続きモニタリングによりデータ蓄積を進めるとともに職員による冠水浸水の予測を進めながら予測システム構築の可能性について研究する。
3	インフラ情報のリアルタイム発信	道路及び河川モニタリングのデータについて、リアルタイム情報発信を継続する。今後は市民が発信情報に気づくよう、広報・普及に努める

【R7】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

06【土木】デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

1	ドローン・IoT・ICT を活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		ドローン・IoT・ICT による情報把握対象の土木インフラ施設数	予定		11	26	28	30	34	38	ドローンの多目的利用による情報把握施設数及び道路・河川モニタリング箇所数等	計画通りの進捗が図れている。
			実績		11	26						

2	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		データ分析対象の土木インフラ施設数	予定		1	1	1	1	3	5	冠水・浸水予測システムによる分析箇所数及び道路パトロールデータの AI 分析施設数	計画通りの進捗が図れている。
			実績		1	1						

3	インフラ情報のリアルタイム発信	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		リアルタイム発信チャンネル数	予定				2	4	6	8	道路・河川モニタリング箇所のデータのリアルタイム発信のチャンネル数(1箇所=1チャンネル)	計画以上の進捗が図れている。
			実績									

【R7】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01「まちづくり」

07【保健福祉】デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
気軽に相談できる窓口の構築		1-a-1福祉関係の手続き・相談等のオンライン化による市民サービスの向上 【保福1-a-1-3】オンライン相談 1-a-2福祉に関する情報発信の強化 【保福1-a-2-2】ナッジ理論を活用した検診の推奨	1-b-1/2 気軽に相談できる窓口の実現にむけた運用面の整理	1-3 気軽に相談できる窓口の実現 (DX活用による連携強化)			■手続きや相談のオンライン化及びプッシュ型通知等による情報発信の強化により、市民サービスの向上が実現できている。 ■DXを活用した連携強化により、重層化・複雑化する市民のさまざまな問題を解決できる。
多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援		2-b-1 包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減 【保福2-b-1-2】電子審査会の推進	2-b-1 先進技術の導入による職員負担の軽減 【保福2-b-2-2】AI・OCR、RPAを活用した事務作業の簡素化	【保福2-b-1-1】訪問調査におけるタブレット活用			■先進技術の積極的な活用により、職員の業務効率化を図り、包括的支援が実現できている。 ■包括的な支援体制の構築に向け、関連する情報を集約し、地域で共有することで、重層化・複雑化する市民ニーズへの対応が強化されている。
			2-b-2 AIを活用した市民サービスの推進	2-3 市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援の実現			

R7年度の目標(総括)	
オンライン対応手続きの拡大やオンライン対応については、今後も周知を行うとともに、再度業務の洗い出しを行うなど対応可能な業務の拡大により、市民目線のあるべき窓口の構築を目指す。 令和7年度からの包括的支援(重層的支援体制整備事業)の実現に向けて、スマートプロジェクト(RPAやAI-OCR等)の利用拡大を更に推進し、業務の効率化、職員の負担軽減を図っていく。	
R7年度の事業総括	
目標	
1	気軽に相談できる窓口の構築 引き続き、オンライン申請実施計画に基づき、オンライン対応手続の拡大を図り、周知を行うとともに、再度業務の洗い出しを行うなど対応可能な業務の拡大に努め、市民サービスの向上を目指す。
2	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援 令和7年度からの包括的支援(重層的支援体制整備事業)の実現に向けて、スマートプロジェクト(RPAやAI-OCR等)の利用拡大をさらに推進し、業務の効率化、職員の負担軽減を図る取組みを推進する。

【R7】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

07【保健福祉】デジタルを活用した福祉の高度化による 包括的な支援体制の実現

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	気軽に相談できる窓口の構築	オンライン 対応手続き 数	予定	8	186	256	256	256	256	256	オンライン対応可能な手続き の調査に基づき設定	対応可能なものから順次 実施している。今後も手 続きのオンライン化を進 めていく。
			実績	15	154	251						
		オンライン 申請利用 率	予定	10%	20%	30%	35%	40%	45%	50%	オンラインでの手続き件数／ 手続き総件数	対応可能なものから順次 実施し、窓口等で周知をし ているものの目標値を下 回っている。引き続き、窓 口やホームページ等でオ ンライン申請を周知する など、利用率増加を図る。
			実績	18.0%	8.0%	8.6%						
		オンライン 対応相談 窓口数	予定			15	15	15	15	15	オンライン対応窓口数	対応可能なものから順次 実施している。 今後も周知を行うととも に、再度業務の洗い出し を行うなど対応可能な業 務の拡大に努めていく。
			実績			10						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	多様な担い手との 連携による市民一 人ひとりの状況に 合わせた包括的支 援	AI等先進 的なICT を活用す る業務数	予定	85	74	80	85	90	95	100	AI、RPA等の活用により、業 務効率化に取り組んだ業務数 を設定	議事録AI利用実績が大きく 伸び、目標を上回って いる。
			実績	85	108	205						

重点課題の進捗状況

凡例： 実施済 当年度実施 今後予定 検討

08【防災危機管理】適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	1-1 災害対応に必要なデータの取得・分析						■災害対応に必要なデータをリアルタイムに取得・分析し、迅速な危機管理対応ができる。 ■有事における対応計画が一元化された情報により作成できるようになる。
	【防災1-1-1】災害情報共有システム導入						
	【防災1-1-2】対災害SNS情報の取得・分析						
	1-2 データ分析に基づく防災計画などの策定						
		【防災1-2-1】3Dデータを活用した防災の周知					
市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信	2-2 旅行者、外国人向けの防災情報の発信						■災害による被害軽減にむけて、市民一人ひとりに合わせたタイムリーかつ「伝わる」防災情報の発信ができています。 ■高齢者や外国人等も含め、多様な市民へも対応できる情報発信ができています。
	【防災2-2-1】旅行者向けの災害情報アプリケーションによる発信						
	【防災2-2-2】ポータルサイトでの外国人向け情報発信						

R7年度の目標(総括)

災害情報共有システムを使用し、災害対応時の情報収集や関連情報の一元把握することで、迅速な意思決定や応急対策を実施し、市民にも防災情報をタイムリーに配信する。
また、市民の防災意識向上のため、浸水深などをよりリアルに感じられる3Dデータを活用した啓発を実施していく。

R7年度の事業総括

目標

1 関連情報のリアルタイムな把握と一元管理
・災害対応時にシステムを使用して気象・防災情報や被害情報など必要なデータの収集・分析を行い、迅速な意思決定や応急対策を実施する。
・津波・高潮ハザードマップ作成にあわせて、浸水想定3Dデータの作成に着手する。

2 市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信
災害情報共有システムを使用した一括配信により、システム整備とあわせて構築する市民ポータルサイトやSNS、民間の防災アプリ等で避難情報等を迅速に多くの人に配信する。

【R7】

重点課題 KPI の評価

01 «まちづくり»

08【防災危機管理】適正・的確なデータを活用した 危機管理マネジメントの構築

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	情報集約対象のシステム化率	予定			100%	100%	100%	100%	100%	集約対象となる防災関連情報のシステム入力率	災害時の被害情報や気象情報、避難者数など必要な情報をすべてシステムで集約できた
			実績			100%						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信	情報発信チャンネル数	予定	10	11	11	11	11	11	11	市民及び旅行者、外国人向け情報発信チャンネル数	防災ポータルを作成することで、避難情報や避難所情報を一つの画面で把握ができるようになり、16言語で発信できるようになった
			実績	10	11	11						

【R7】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

02《行政経営》

01【窓口】行かなくてもよい&待たない窓口

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	1-1 申請のオンライン化 【窓口1-1-1】全庁的な手続きオンライン化の推進 【窓口1-1-2】自治体オンライン化推進事業 【窓口1-1-3】クルーズ船入港予約システム 【窓口1-1-4】学校体育館等における施設予約システム・スマートロックの導入 1-2 電子申請における事務処理の効率化 【窓口1-2-1】電子申請と庁内システムの連携						■窓口に行く時間がない、行くことが困難といった市民・事業者は対面性を必要としない、全ての手続きをオンラインで行うことができ、窓口には行かなくてもよい。
書かない/待たない窓口の実現	2-1 窓口での手続きに要する時間の削減 【窓口2-1-1】書かない窓口の導入 2-3 プッシュ型手続きの実現 【窓口2-3-1】LINEによる一人ひとりに合った情報提供						■対面性が必要とされ窓口に行かなくてはならない手続き、窓口で支援を受けたい手続きについては、待合スペースでの申請入力や、来庁者の分散化により最小限の待ち時間でサービスを受けることができる。
相談チャネルの拡充	3-a-1 オンライン相談の拡大 【窓口3-a-1-1】オンライン相談の拡大 3-b-1 相談に係る待ち時間の削減 【窓口3-b-1-1】相談窓口予約						■市民・事業者は各種相談についても市役所に行かなくても、いつでもどこでもサービスを受けることができる。

R7年度の目標(総括)

市役所に行かなくてもオンラインでできる行政手続きや各種施設の予約、オンライン相談を拡大することで、市民等がいつでも・どこでもサービスを受けることができる環境を充実させる。
また、対面での申請が必要な手続きやオンライン申請等が難しい方には、新たに「書かない・待たない窓口」を導入することで、待ち時間の短縮や書類への記入の手間を省くことで負担を軽減していく。

R7年度の事業総括

目標

1	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	引き続き、オンラインでできる行政手続きを拡大するとともに、利用を促す広報活動・導線改善等を行うことで利用促進を進めていく。 また、これまでの公共施設予約に加え、新たに学校体育館等についてオンライン予約を導入するとともに、暗証番号の入力で開錠ができるスマートロックを導入することで、利用者・学校・鍵管理者それぞれの負担軽減を図る。
2	書かない／待たない窓口の実現	「書かない・待たない窓口」を実現するため、デジタル庁の窓口DXSaaSの導入、BPRを含めて令和7年度に実施する。 なお、プロジェクトとしては、そもそも市民による申請書作成自体を無くすという方向にしたことから、当初考えていた「申請書類作成支援システム導入」と「申請の事前入力や窓口予約の実現」の2つのプロジェクトについては、「書かない窓口の導入」に発展・統合して、書かない／待たない窓口を実現することとした。
3	相談チャネルの拡充	既存システム(ツール)によるオンライン相談については、周知を行うとともに、改めて適応できる業務を洗い出すなどして対応可能な業務の拡大を目指す。また、窓口予約については対象業務の拡大を目指す。

【R7】

重点課題 KPI の評価

02 ≪行政経営≫

01【窓口】行かなくてもよい待たない窓口

1	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン 対応手続 き数	予定	134	510	1,020	1,040	1,060	1,080	1,100	オンライン対応可能な手続き の調査に基づき設定	概ね計画どおり進捗が図 れている
			実績	134	521	1,021						
		オンライン 申請利用 率	予定	10%	20%	30%	35%	40%	45%	50%	オンラインでの手続き件数／ 手続き総件数	申請利用率が横ばいと なっており、広報活動・導 線改善等により申請率向 上に向けた取り組みをし ていく
			実績	18.0%	6.6%	6.8%						

2	書かない／待たない窓口の実現	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		申請書作 成支援対 応手続き 数	予定					7	7	7	下記7申請書を対象とする ・住民票の写し等交付請求書、印鑑登録証明書 ・させば市民カード(印鑑登録証)等申請(届出)書、住民 異動届、通知カード紛失届/個人番号カード紛失・廃止 届、個人番号カード・電子証明書の暗証番号変更・初期 化申請書、個人番号カード交付申請書 兼 電子証明書発 行/更新申請書	令和6年度に令和7年度 以降のKPIを設定した
			実績									
		申請書作 成支援対 応手続き 利用率	予定					100%	100%	100%	上記申請書はすべて利用	令和6年度に令和7年度 以降のKPIを設定した
			実績									

3	相談チャネルの拡 充	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン 相談対応 業務数	予定			19	19	19	19	19	オンライン相談ができる窓口数	対応可能なものから順次実 施したものの、業務内容によ り対応が難しい面があり目 標には届いていない状況で ある。今後も周知を行うとと もに、再度業務の洗い出しを 行うなど対応可能な業務の 拡大に努めていく。
			実績			14						
		窓口予約 対応手続 き数	予定			2	4	4	4	4	窓口予約対応手続き数 (令和5年度より実装、順次拡 大)	市公式LINEへの予約機 能追加もあり、予定を上 回る進捗が図れている。
			実績			4						

02《行政經營》

02【多様化】多様なサービスをもれなく受けられる市役所

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
支払のキャッシュレス対応	1-1 財務会計システム納付書のキャッシュレス化						■市民・事業者は、行政サービスにおける各種支払いについてキャッシュレス(クレジットカード、電子マネー等)を選択することができる。
	【多様化1-1-1】財務会計システムの納付書に対するキャッシュレス導入						
	1-2 窓口(レジ)のキャッシュレス化						
	【多様化1-2-1】窓口(レジ)のキャッシュレス導入						
	1-3 個別システム納付書のキャッシュレス化						
	【多様化1-3-1】個別システムの納付書に対するキャッシュレス導入						
デジタルデバインド対応	2-a-1 デジタルデバインド対応						■市民・事業者は、窓口対応や市からの行政サービスの提供において年齢や障がい・言語を問わず、DXのメリットを享受することができる。 ■市民・事業者は地域を問わず、デジタルを活用することができる。
	【多様化2-a-1-1】高齢者・障がい者へのデジタル活用支援						
	2-b-1 情報発信の多言語対応						
	【多様化2-b-1-1】広報の多言語対応拡張						
	【多様化2-b-1-2】AI翻訳ソフトの実証と導入						
	2-c-1 ネットワーク利用可能施設の拡大						
	【多様化2-c-1-1】市内公共施設へのWi-Fi環境導入と適切な管理・運用						
情報発信の最適化	3-1 情報発信のデジタル化						■市民・事業者は、市役所が発信する様々な情報を、必要な時に、広報紙やホームページ、各種SNSといった最適な手段で取得することができる。 ■市民・事業者は動画によりわかりやすい情報を得ることができる。
	【多様化3-1-1】広報紙のデジタル化						
	【多様化3-1-2】LINEサービスの拡張						
	3-2 利用者のニーズに合わせた情報発信の最適化						
	【多様化3-2-1】ホームページのリニューアル						

R7年度の目標(総括)

引き続き個別システムから出力する納付書や小規模現金取り扱い窓口のキャッシュレス化を検討するとともに、職員や市民アンケートの結果をもとにキャッシュレス決済利用率の向上策を実施する。
 高齢者、障がい者等のデジタルデバйд対応としては、内容改善を図りつつ講習会等を継続実施する。
 コミュニティセンターへ整備したWi-Fiについては、その環境を最大限活用して、ソフト事業の充実と積極的な取組を継続して推進する。
 ホームページのリニューアル等により、情報発信の最適化を図る。

R7年度の事業総括

目標

1	支払いのキャッシュレス対応	個別システムから出力する納付書や小規模現金取り扱い窓口(指定管理者を含む)のキャッシュレス化について引き続き対応を検討するとともに、令和6年度に実施した職員・市民アンケートの結果をもとにキャッシュレス決済利用率の向上に向けた対策を実施していく。
2	デジタルデバйд対応	高齢者、障がい者等のデジタルデバйд対応としては、内容に市の提供するサービス(キャッシュレス決済等)を盛り込むなど改善を図り、引き続き講習会等を実施する。 コミュニティセンターにおいては、令和4年度整備のWi-Fi環境の利用を推進し、社会ニーズも視野に入れたソフト面の研究及び実践に努め、その活用を図る。
3	情報発信の最適化	利用者が知りたい情報に「たどり着く」、知りたい情報が「分かる」ホームページへリニューアルを行う。

【R7】

重点課題 KPI の評価

02 ≪行政経営≫

02【多様化】多様なサービスをもれなく受けられる市役所

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	支払いのキャッシュレス対応	キャッシュレス決済利用率(財務システム)	予定		5%	6%	7%	8%	9%	10%	キャッシュレス決済利用金額／全決済金額(キャッシュレス決済対応済手続きのみ)	全庁的な通知・広報等で周知するも目標値を下回っている。引き続き全庁通知でのチラシ同封や広報等を行うとともに、チラシデザインの改善を検討する。
			実績		3.9%	4%						
		キャッシュレス決済利用率(窓口)	予定		20%	25%	30%	35%	40%	45%	キャッシュレス決済利用金額／全決済金額(キャッシュレス決済対応済手続きのみ)	全庁的な通知・広報等で周知するも目標値を下回っている。窓口・レジ回りでの掲示、電子掲示板での周知に加えて、職員や来庁市民向けアンケートを行うなど原因追及に努め更なる対策を検討する。
			実績		10.2%	12%						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	デジタルデバйд対応	情報発信における対応言語数	予定	4	4	4	4	243	243	243	佐世保市の外国人市民の主要言語数(英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語、ベトナム語、フィリピン語)(「令和元年度佐世保市外国人市民アンケート報告書」より)	デジタル版広報紙のサービス提供によって、広報紙については「10言語」に対応。外国語自動翻訳サービスをGoogle翻訳へ切り替えたことによって、対応言語数を4言語から133言語へ拡充し継続中。
			実績	4	4	133						
		デジタル活用セミナー実施回数	予定	21	27	27	27	27	27	27	市が行うデジタル活用セミナーの回数	予定を上回る結果となった。
			実績	30	48	45						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
3	情報発信の最適化	市ホームページのアクセス数	予定	3,920,000	4,272,800	4,625,600	4,939,200	5,252,800	5,566,400	5,880,000	市ホームページのアクセス数(利用数＝セッション数)	アクセス件数は令和3年度以降ほぼ横ばいで推移。情報更新の充実に努めるとともに、ほかの広報媒体との効果的な連動などによって、ホームページの利用促進を図りたい。
			実績	3,944,938	4,077,432	4,051,623						

【R7】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

02 ≪行政経営≫

03【高質化】デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
市民・事業者の意見の 効果的な活用				1-1市民の声収集・活用の活性化 【業務効率化1-1-1】広聴制度の見直し			■市民・事業者からの声を、デジタルを活用することで広く収集し、効果的に施策に反映できるようになる。
事務作業の削減・省力化		2-a-1 デジタルツール活用による業務の自動化 【業務効率化2-a-1-1】RPAの導入と活用 【業務効率化2-a-1-2】AI-OCRの導入と活用 【業務効率化2-a-1-3】ローコードツールの活用 【業務効率化2-a-1-4】文字起こしAIによる議事録の自動化 【業務効率化2-a-1-5】業務手順書作成によるBPRの推進					■事務作業は可能な限りAIやロボットにより自動化され、職員の業務から削減される。 ■デジタルツールにより決裁等の時間や手間のかかる業務をサポートすることで、職員はよりスピーディに業務を遂行することができる。
様々なデータを活用した業務の高度化		2-b-1 内部事務のデジタル化 【業務効率化2-b-1-1】電子決裁・文書管理システム 【業務効率化2-b-1-2】庶務事務システム					
		3-1 データ利活用環境の整備 【業務効率化3-1-1】BIツール等を用いたデータの見える化 【業務効率化3-1-2】地理情報システム管理事業 【業務効率化3-1-3】データ共有プラットフォーム					■庁内の様々なデータを利活用し、課題解決や業務に活かすことにより、職員の業務は更に高度化することができる。
		3-2 庁内情報管理の高度化 【業務効率化3-2-1】AI等先進技術の活用研究 【業務効率化3-2-2】庁内情報の整理と配置の見直し					

R7年度の目標(総括)

アンケートによる広聴制度への意見分析を基に市民満足度を高める取り組みを進めるとともに、HPのリニューアルに合わせて、問い合わせフォームや市民の声への対応結果表示等の見直しを行う。
 引き続き、庁内の業務効率化を進めていくためにスマートプロジェクト(RPA・AI-OCR)の利用拡大に取り組む。
 また、引き続き、業務手順書作成システムを活用した業務可視化等により、各部署における自主的な業務手順の見直しによるBPRを推進する。
 職員がBIツールを効果的に活用できるように、研修や長崎県のデジタル人材共同利用事業等を活用し、職員の育成に取り組む。
 HPリニューアルに合わせて、市民が声を届けやすく、結果を確認できるよう、広聴部分の見直しを行う。

R7年度の事業総括

目標

1	市民・事業者の意見の効果的な活用	アンケートによる広聴制度への意見分析を基に市民満足度を高める取り組みを進めるとともに、HPのリニューアルに合わせて、問い合わせフォームや市民の声への対応結果表示等の見直しを行う。
2	事務作業の削減・省力化	引き続き、庁内の業務効率化を進めていくためにスマートプロジェクト(RPA・AI-OCR)の利用拡大に取り組む。 また、引き続き、業務手順書作成システムを活用した業務可視化等により、各部署における自主的な業務手順の見直しによるBPRを推進する。
3	様々なデータを活用した業務の高度化	職員がBIツールを効果的に活用できるように、研修や長崎県のデジタル人材共同利用事業等を活用し、職員の育成に取り組む。

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	市民・事業者の意見の効果的な活用	広聴システムでの満足度	予定	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	広聴システムからの回答についての大変満足・満足の割合（アンケート等による）	現システムにおける市民の声への対応満足度はほぼ横ばいである。R5年度実施のアンケートを含め市民の声の効果的活用を継続して研究中
			実績	80.2%	83.6%	82.5%						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	事務作業の削減・省力化	RPA等による削減効果時間	予定	2,500.0	2,800.0	3,000.0	3,200.0	3,400.0	3,600.0	3,800.0	(RPA1件における平均効率化時間 50h × 利用件数 音声文字起こし AI の年間効率化時間 1,200h)	計画通りの進捗が図れている。
			実績	7,055.8	5,273.2	7,089.34	6,634.88					
		電子決裁率	予定		100%	100%	100%	100%	100%	100%	決裁の基本ルールとして100%電子決裁とするため(例外は除く)	計画通りの進捗が図れている。
			実績		100%	100%						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
3	様々なデータを活用した業務の高度化	データの見える化対応業務数	予定			6	12	18	24	30	Power BIによるダッシュボード作成:6件／年	計画通りの進捗が図れている。
			実績			6						

重点課題の進捗状況

凡例： 実施済 当年度実施 今後予定 検討

04【 職場環境 】職員的能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	1-a-1 リモートワークに適したネットワーク・パソコン環境の検討と実証						■職員は自身の働き方や業務内容に応じて、働く場所を選択することができる。 ■職員は庁内においても場所にとらわれず効率的に業務を遂行することができる。 ■市民や事業者とも対面にとらわれず、効率的に情報発信やコミュニケーションをとることができる。 ■アイデア創出のための組織横断的なコラボレーションができる。 ■自治体情報システムやICTインフラはより効率的かつ利便性の高いものとなる。
	【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(端末整備)※毎年度拡大						
	【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(ネットワーク整備)						
	1-a-2 リモートワークに適した環境リプレースの推進						
	【職場1-a-2-1】PC台数、スペック、運用の見直し						
	1-b-1 オンラインコミュニケーションの環境整備・実証						
	【職場環境1-b-1-1】オンライン共有環境や運用の見直しと拡大						
	【職場環境1-b-1-2】研修・説明会・視察のオンライン化						
	1-b-2 情報共有環境の見直し						
	【職場環境1-b-2-2】スマートワークの環境整備(クラウド環境)						
	1-b-3 印刷環境の見直し						
	【職場環境1-b-3-1】複合機・プリンタ配置見直し						
	1-c-1 スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸・見直し						
	【職場環境1-c-1-1】スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸調査						
1-c-2 スマートワークに適した働き方の見直し							
【職場環境1-c-2-1】働き方見直し検討							
1-d-1 強靱で利便性の高いセキュリティ対策実施							
【職場環境1-d-1-1】強靱で利便性の高いセキュリティ対策の実施							
自治体情報システムの標準化	2-2-1 基幹システム標準化対応						■国の指針に則り、自治体情報システムは標準化・共通化されている。
	【職場環境2-2-1】基幹システムの標準化						

R7年度の目標(総括)	
令和6年度に選定した運用事業者とともに、昨年度に引き続き庁内ネットワークの設計・構築・展開等を実施する。スマートワーク環境を実現するため、ネットワークの構築・モバイル端末の全庁導入を完了させることに併せて、プリンタの配備見直しの検討を進める。システム標準化については、令和7年度の更新に向けて、移行作業を行っていく。	

R7年度の事業総括	
目標	

1	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	令和6年度に選定した運用事業者とともに、昨年度に引き続き庁内ネットワークの設計・構築・展開等を実施する。パソコンのモバイルパソコンへの入れ替え、Wi-Fi環境の整備を完了する。また、プリンタの配備見直しを行う。
2	自治体情報システムの標準・共通化	「基幹システムの標準化」として、令和7年度の更新のため、移行作業を行っていく。

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	時間・場所にとられないスマートワーク環境	オンラインコミュニケーションの利用率	予定	50.0%	55.0%	60.0%	80.0%	90.0%	100.0%	100.0%	オンラインコミュニケーション 利用職員数／利用可能職員数	計画よりも進捗が図れている。
			実績	60.3%	84.4%	92.6%						
		ペーパーレス度(令和3年度印刷枚数と の比較)	予定	100.0%	100.0%	85.0%	85.0%	65.0%	45.0%	30.0%	各年度のA4用紙購入枚数／ 令和3年度のA4用紙購入枚数	計画よりも進捗が図れている。
			実績	100.0%	95.1%	81.7%						
		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	自治体情報システムの標準・共通化	標準化対応業務数	予定					18	20	20	国の自治体システム標準化に関する方針に基づき設定(標準化した業務数)	令和7年度の目標値達成に向け、取り組んでいる。
			実績									

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
										項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				名称	名称	PID	名称	概要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																		実施年度							
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	子育てに関する情報発信の強化	子ども1-b-1-1	プッシュ型通知(子育て応援アプリなど)の拡充	市が保有するデータを活用し、子育て世帯向けに子育てに関する情報や必要な手続きなどをプッシュ通知でのお知らせを実施します。	○	新規登録率 R7以降させばっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)／母子健康手帳新規(第一子目)交付者数(年度ごと)	50.0%	78.0%	53.0%	46.2%	57.0%	45.4%	60.0%		90.0%		90.0%		90.0%		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	子育てに関する手続きのワンストップ化や情報発信との連携強化	子ども1-2-1	オンライン申請利用率の向上	妊娠、出産、育児等に係る申請等についてマイナポータル等を活用し、オンラインによる申請手続き率を向上します。		申請利用率	10.0%	12.1%	20.0%	14.0%	30.0%	29.9%	35.0%		40.0%		45.0%		50.0%		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化	新たな技術を活用した子育て支援の推進	子ども2-1-2	オンライン相談(母子健康手帳交付、訪問相談など)	母子健康手帳交付、訪問相談などの相談をオンラインで対応可能な環境を実現します。		相談対応事業数	1	1	2	2	3	3	3		3		3		3		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化	新たな技術を活用した子育て支援の推進	子ども2-1-3	地域子ども・子育て支援におけるオンラインネットワーク化による連携	地域の子育て関連機関とのやりとりや資料共有などオンラインで対応可能な環境を実現します。	○	連携施設数					50	73	73		73		73		73		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化	子育て支援に必要なデータの取得・分析	子ども2-2-1	子育て関連情報の一元管理	子育てに関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		データ活用を行う業務数															...	...	...	...	...	...					
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化	データ活用等による、細やかな子育て支援ニーズへの対応	子ども2-3-1	AIデータ分析による業務活用	子育てに関する様々なデータを分析し、AIによるリスク検知を行うことで、ケースのリスクアセスメントや支援プランの作成を実現します。	○	データ活用を行う業務数															...	...	...	...	...	...					
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	モラル教育及びセキュリティの充実	教育1-a-1-1	フィルタリングソフトの導入	児童生徒をインターネットトラブルや有害サイトから守り、安心してITを利用できる環境を実現します。		ソフト導入率			100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	教員の学びの知見の共有化	教育1-b-1/2-1	学校教育ネットワーク強化事業	通信環境の強化により、児童生徒が快適にITを利用できる環境を実現します。		ハード・ソフト導入率			100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	個別に最適化された学びの実現	教育1-c-1	AIドリルの導入	児童生徒の解答をAIが分析し、次に取り組むべき問題を自動で出題するなど、個々の習熟度に応じた学習を実施します。		導入学校数									100%		100%		100%					○	⇒	⇒					

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度								
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9							
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	校務の効率化による注力すべき業務へのシフト	校務の効率化支援	教育2-1-1	統合型校務支援システムの導入	統合型校務支援システムの導入により校務の効率化を実現します。		システム導入率			100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	保護者等とのコミュニケーション円滑化による学校・家庭協働での支援体制強化	保護者とのコミュニケーションの基盤の整備	教育3-1-1	学校・家庭間連絡システムの導入	学校から保護者への連絡や保護者から学校への連絡をシステム化します。	○	活用学校数			0%	50%	70%	100%	100%		100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	まちづくり計画に必要な人流情報の把握	都市1-1-1	(まちなかウォークアブル推進、データ使用料)人流データの把握	携帯電話のローミング情報をもとに国内居住者や訪日外国人の人口分布や動態の把握を図ります。		取得データ種別数					1	2	2		0		0		2			○	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	まちづくり計画に必要な施設情報の把握	都市1-1-4	空き家推定ツール開発共同研究事業	空き家の状況把握や定期的な実態確認を実施します。		確認建物数%					(株)ゼンリンとの協議継続中	(株)ゼンリンとの協議継続中	100%		100%		100%		100%		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	SNSを活用した公共施設の情報取得と解析	都市1-2-2	SNSを活用した公園管理	SNSにより、公園の遊具や植物の状況(老朽状態や育成状況など)について市民からの情報取得を実施します。		導入公園率(%)					100%	100%	100%		100%		100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	3D都市モデルの活用	都市2-1/2/3-1	3D都市モデル構築業務	建物の高さや構造種別などを立体的に把握し、3Dでの都市の状況表示を実現します。	○	市民対応での活用率			0%	0%	14.0%	14.0%	28.0%		42.0%		56.0%		70.0%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	3D都市モデルを活用した計画策定の高度化	都市2-2-1	3Dデータを活用したまちづくり計画の高度化	3D都市モデルを作成することで、災害リスクの検討や人流・物流のシミュレーションを行い、より高度な居住計画に資する情報の分析を実現します。		ダッシュボードの作成件数					6	6	6		6		9		12			○	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	データ一元化による土地利活用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立)	まちづくり計画に必要なデータの一元管理	都市3-1-1	データ共有プラットフォーム	都市整備に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		統合するデータ種別数					5	5	6		7		8		9		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	ドローンの3D測量等多目的活用の実施	土木1-a-1/2/3-1	ドローンの多目的活用の推進	インフラ施設や災害現場の全体像の把握や写真・動画の撮影、関係部署との共有、市民への情報発信などドローンの多目的活用を実施します。		ドローン多目的利用数			3	3	4	4	5		6		8		10		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサ)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-1	道路冠水状況モニタリングシステム	モニタリング(カメラ・センサ)により、市道等の冠水状況の把握を行います。また、冠水浸水予測システム構築に向けたデータ収集を実施します。	○	モニタリング箇所数					9	9	9		9		9		9		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒							

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																		実施年度					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9			
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサ)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-2	河川モニタリングシステム	ライブカメラやセンサー等により、リアルタイムな河川の状況把握を実施します。	○	モニタリング箇所数				4	4	8	8	8		8		8		8		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサ)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-3	ウェアラブルカメラの活用	ウェアラブルカメラを活用し、現場と本庁で画像、映像を共有し、本庁側での現場のリアルタイムな状況確認を実現します。		ウェアラブルカメラ利用時間(h)				200	50	280	260	360		440		520		600		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサ)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-4	(道路パトロールの動画活用システム及びAI分析システム)道路パトロールの動画活用システム	道路パトロールのICT化データ(路面評価)と、動画データとのダブルチェックによる損傷確認や、路面以外の道路周辺の映像確認等を実施します。	○	道路パトロール利用率				75.0%	75.0%	77.5%	77.5%	80.0%		82.5%		85.0%		90.0%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-1	冠水・浸水予測システム	道路・河川モニタリングシステムによって集積されたデータをAI技術等により分析し、水位予測モデルの作成を実施します。	○	冠水・浸水箇所の分析箇所数												2		4		...	...	...	...	○	⇒		
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-2	(道路パトロールの動画活用システム及びAI分析システム)道路パトロールデータのAI分析	道路パトロールの動画活用システムなどで蓄積された画像データをAIにより分析し、舗装損傷箇所の自動検出を実現します。		道路パトロールデータ分析率				75.0%	36.5%	77.5%	77.5%	80.0%		82.5%		85.0%		90.0%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-3	WEBアプリケーション等を活用した市民による道路損傷通報	スマホの写真撮影機能と位置情報計測システム(GPS)機能を活用し、市民が道路損傷等をWEBアプリケーション等で市へ通報することを実現します。		WEBアプリケーション等による通報件数						630	70	660		690		720		760		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	情報分析に基づくインフラ管理の高度化	土木1-b-3/2-3-1	データ共有プラットフォームによるデータ管理	土木に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		データ種別数										1		2		3				○	⇒	⇒	⇒		

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																		実施年度								
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9						
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	インフラ情報のリアルタイム発信	市民へのインフラ情報のリアルタイム発信	土木3-1/2-1	ホームページ等による情報のリアルタイム発信	ライブカメラの映像等をホームページ等でのリアルタイム発信を実現します。		リアルタイム発信のチャンネル数					0	0	2		4		6		8		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒						
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	気軽に相談できる窓口の構築	福祉関係の手続き・相談等のオンライン化による市民サービスの向上	保福1-a-1-3	オンライン相談	介護・医療などの相談をスマホやパソコンからオンラインで実施可能な環境を実現します。		オンライン相談窓口数					15	10	15		15		15		15		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒						
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	気軽に相談できる窓口の構築	福祉に関する情報発信の強化	保福1-a-2-2	ナッジ理論を活用した健診の推奨	長崎県が実施する「ICTを活用した特定健診受診率向上対策事業」に参加し、受診勧奨を行う。		通知勧奨実施回数					1	2	2		2					...	○	⇒	⇒									
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保福2-b-1-1	訪問調査におけるタブレット活用	生活保護業務の訪問調査において、タブレットを活用して資料説明や情報入力を実施します。		タブレット導入数											13		13		...	...	...	○	⇒							
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保福2-b-1-2	電子審査会の推進	介護認定審査会をオンライン開催し、場所にとられない会議を実現します。		予定しているWEB会議の開催率			100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒						
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保福2-b-2-2	AI-OCR、RPAを活用した事務作業の簡素化	受領した書類の入力作業をRPAやAI等に行わせ、職員はエラーチェックや確認作業のみを行うことで負担軽減を図るもの。	○	活用数							2		2		2		2		...	...	○	⇒	⇒	⇒						
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	災害対応に必要なデータの取得・分析	防災1-1-1	災害情報共有システム導入	災害時の各部局の被害情報を、災害対策本部でリアルタイムに集約し、一元管理できる環境を実現します。	○	情報集約対象のシステム化率			0%	0%	100%	100%	100%		100%		100%		100%		○	○	⇒	⇒	⇒	⇒						
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	災害対応に必要なデータの取得・分析	防災1-1-2	対災害SNS情報の取得・分析	SNSの投稿内容を分析し、指定エリアの被災状況やリスク情報のリアルタイムな可視化を実現します。		分析結果活用率			100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒						
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	データ分析に基づく防災計画などの策定	防災1-2-1	3Dデータを活用した防災の周知	防災に対する意識向上を図るため、3Dデータを活用したシミュレーション動画の配信を実施します。		活用率（利用者数）					100%	100%	100%		100%		100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒						
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	市民一人一人に合わせたタイムリーな情報発信	旅行者、外国人向けの防災情報の発信	防災2-2-1	旅行者向けの災害情報アプリケーションによる発信	自然災害時において、旅行者がより正確な情報収集を可能にできる環境を実現します。		防災アプリによる情報発信率					100%	100%	100%		100%		100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒						
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	市民一人一人に合わせたタイムリーな情報発信	旅行者、外国人向けの防災情報の発信	防災2-2-2	ポータルサイトでの外国人向け情報発信	市民ポータルサイトでの多言語配信により、外国人に合わせた情報発信を実施します。		多言語による情報発信率					100%	100%	100%		100%		100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒						

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度								
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9							
行政経営	窓口	行政経営改革部	行かなくてもよい &待たない窓口	市役所に行か なくてもできる 手続きの拡大	申請のオン ライン化	窓口1-1-1	(オンライン申請推進事業) 全庁的な手続きオンライン 化の推進	汎用電子申請システムやび ったりサービスを利用し、庁内 の手続きをオンライン化しま す。	○	オンライン 対応 手続き 数	134	134	510	521	1,020	1,021	1,040		1,060		1,080		1,100		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
行政経営	窓口	行政経営改革部	行かなくてもよい &待たない窓口	市役所に行か なくてもできる 手続きの拡大	申請のオン ライン化	窓口1-1-2	(オンライン申請推進事業) 自治体オンライン化推進事 業	国が提供するびったりサービ スと自治体が管理する基幹系 システム(マイナンバー利用 系)をオンライン接続できるよ うにします。	○	オンライン 対応 手続き 数	134	134	510	521	1,020	1,021	1,040		1,060		1,080		1,100		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
行政経営	窓口	港湾部	行かなくてもよ い&待たない窓 口	市役所に行か なくともでき る手続きの拡大	申請のオン ライン化	窓口1-1-3	クルーズ船入港予約シ ステム構築	オンラインシステムによるリアル タイムでの予約状況の見える 化により、クルーズ受入体 制を強化します。		クルー ズ客船 による 乗降人 員数			1,566,000	2,747	1,686,000	62,258	1,806,000		500,000		600,000		750,000		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
行政経営	窓口	教育委員会	行かなくてもよ い&待たない窓 口	市役所に行か なくともでき る手続きの拡大	申請のオン ライン化	窓口1-1-4	学校体育館等における設 施予約システム・スマート ロックの導入	オンラインでの学校体育館等 の予約を可能とするとも に、スマートロックを導入する ことで、事前の鍵の受け渡し が不要となり、市民の利便性 向上及び内部事務の効率化 を図ります。		施設予 約シス テム予 約成 立件 数								500		6,125		6,250		...	...	...	○	⇒	⇒								
行政経営	窓口	行政経営改革部	行かなくてもよ い&待たない窓 口	市役所に行か なくともでき る手続きの拡大	電子申請に おける事務 処理の効率 化	窓口1-2-1	電子申請と庁内システム の連携	汎用電子申請やびったりサー ビスで受け付けた申請デー タを庁内システムに連携し、内 部事務の効率を向上します。									5		6		7		8		...	...	○	⇒	⇒	⇒							
行政経営	窓口	市民生活部	行かなくてもよ い&待たない窓 口	書かない／待 たない窓口の 実現	窓口での手 続きに要す る時間の削 減	窓口2-1-1	書かない窓口の導入	申請書等を記入せずに、窓口 でヒアリング等を行い作成し ます。また、受け付けたデー タで内部事務の効率化を図り ます。		申請書 作成支 援対応 手続き 数									7		7		7		...	...	...	○	⇒	⇒							
行政経営	窓口	行政経営改革部	行かなくてもよ い&待たない窓 口	書かない／待 たない窓口の 実現	プッシュ型 手続きの実 現	窓口2-3-1	LINEによる一人ひとりに 合った情報提供	市民にとって必要な情報を佐 世保市公式LINEからプッ シュ型で案内することで市民 の利便性を向上します。		プッシュ 通知件 数									26		52		52				○	⇒	⇒	⇒							
行政経営	窓口	行政経営改革部	行かなくてもよ い&待たない窓 口	相談チャネル の拡充	オンライン 相談の拡大	窓口3-a-1-1	オンライン相談の拡大	現在も取組を行っているオン ライン相談について、活用方 法を整理し対象業務の拡大を 図ります。		対応業 務数	2	—	3	3	19	14	19		19		19		19		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
行政経営	窓口	行政経営改革部	行かなくてもよ い&待たない窓 口	相談チャネル の拡充	相談に係る 待ち時間の 削減	窓口3-b-1-1	相談窓口予約	相談窓口について事前予約を 既存のシステム(Office365 やローコードツール)を活用し 実装することで、相談窓口の 混雑や待ち時間を削減しま す。		窓口予 約対応 手続き 数	0	—	1	3	2	4	4		4		4		4		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒							
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに 対応し、必要な 人が必要なサー ビスを受けられる 市役所	支払いの キャッシュレス 対応	財務会計シ ステム納付 書のキャッ シュレス化	多様化1-1-1	(キャッシュレス化推進事 業)財務会計システムの納 付書に対するキャッシュレ ス導入	財務会計システムで取り扱う 納付書に関してキャッシュレ ス対応し、多様なニーズに応 えます。	○	キャッ シュレ ス決 済利 用率	0%	0%	5%	3.9%	6%	4%	7%		8%		9%		10%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに 対応し、必要な 人が必要なサー ビスを受けられる 市役所	支払いの キャッシュレス 対応	窓口(レジ) のキャッ シュレス化	多様化1-2-1	(キャッシュレス化推進事 業)窓口(レジ)のキャッ シュレス導入	窓口での支払いに関して キャッシュレス対応のレジを 導入し、多様なニーズに応え ます。	○	キャッ シュレ ス決 済利 用率(窓 口)	0%	0%	20%	10.2%	25%	12%	30%		35%		40%		45%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに 対応し、必要な 人が必要なサー ビスを受けられる 市役所	デジタルデバ イド対応	高齢者、障 がい者等の デジタルデ バイド対応	多様化2-a-1-1	高齢者・障がい者へのデジ タル活用支援	高齢者や障がい者がオンライ ン申請等を活用できるよう、 教育等の支援をします。		デジ タル活 用セ ミナ ー実 施回 数	21	30	27	48	27	45	27		27		27		27		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに 対応し、必要な 人が必要なサー ビスを受けられる 市役所	デジタルデバ イド対応	情報発信の 多言語対応	多様化2-b-1-1	広報の多言語対応拡張	広報等について対応する言語 を拡張し、より幅広い外国人 への情報発信を図ります。		対応言 語数	4	4	4	4	4	133	4		243		243		243		⇒	⇒	⇒	○	⇒	⇒							

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9				
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	情報発信の多言語対応	多様化2-b-1-2	(先進的ICT技術活用推進事業)AI翻訳ソフトの実証と導入	汎用的なAI翻訳ソフトを実証し、様々な業務に導入します。	○	翻訳機使用回数	20	38	20	47	20	11	20		20		20		20		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	多様化	市民生活部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	ネットワーク利用可能施設の拡大	多様化2-c-1-1	市内公共施設へのWi-Fi環境導入	より幅広い公共施設で市民がインターネットを活用できるようWi-Fi環境を導入します。		導入施設数	0	0	29	29	29	29	29		30		30		30		○	⇒	○	⇒	⇒	⇒				
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	情報発信のデジタル化	多様化3-1-1	広報紙のデジタル化	現在紙が中心となっている広報誌をオンライン化することで幅広い要望に対応します。		アクセス数	3,920,000	3,944,938	4,272,800	4,077,432	4,625,600	4,051,623	4,939,200		5,252,800		5,566,400		5,880,000		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	情報発信のデジタル化	多様化3-1-2	LINEサービスの拡張	現在も取組を行っているLINEによる情報発信について、対象サービスを拡張し、より幅広い情報発信を行います。		対応業務数	9	9	11	9	13	8	15		15		15		15		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	利用者のニーズに合わせた情報発信の最適化	多様化3-2-1	ホームページのリニューアル	利用者が知りたい情報に「たどり着く」、知りたい情報が「分かる」佐世保市ホームページにリニューアルするもの		アクセス数									5,252,800		5,566,400		5,880,000		...	...	...	○	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	市民・事業者の意見の効果的な活用	市民の声収集・活用の活性化	業務効率化1-1-1	広聴制度の見直し	現状の広聴システムにおいてSNSのコメント収集や、より分析しやすくなるためのデータ形式や入力方法といった見直しを行います。		広聴システム満足度	100%	80.2%	100%	83.6%	100%	82.5%	100%		100%		100%		100%		...	...	...	○	⇒	⇒				
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-1	(先進的ICT技術活用推進事業)RPAの導入と活用	RPAを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。	○	利用件数	25	32	32	38	35	50	38		41		44		47		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-2	(先進的ICT技術活用推進事業)AI-OCRの導入と活用	AI-OCRを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。	○	処理帳票種類	0	0	20	19	24	28	28		32		36		39		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-3	(先進的ICT技術活用企画費)ローコードツールの活用	ローコードツールを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。		アプリケーション開発件数	1	0	3	1	6	1	9		12		15		18		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-4	(先進的ICT技術活用推進事業)文字起こしAIによる議事録の自動化	既に取組を行っている文字起こしAIによる議事録の自動化について活用を促進します。	○	処理件数(累計)	800	925	1,700	1,852	2,600	3,395	3,500		4,400		5,300		6,200		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	内部事務のデジタル化	業務効率化2-a-1-5	電子決裁・文書管理システム	文書管理システムを導入し、庁内における決裁を電子化することで業務の高速化を図ります。		電子決裁率	0%	0%	100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	内部事務のデジタル化	業務効率化2-b-1-2	庶務事務システムの再構築	庶務事務システムの再構築により、勤怠入力や休暇申請といった業務をデジタル化します。		庶務業務のデジタル化件数	0	0	1,200	0	17,700	21,466	17,700		17,700		17,700		17,700		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-1	BIツール等を用いたデータの見える化	時間のかかるデータ分析について、BIツールを用いることによりデータ活用の効率化ができるか実証の上構築を行います。		ダッシュボードの作成件数	0	0	0	0	6	6	12		18		24		30			○	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-2	DX企画推進事業(長崎県データ連携基盤)	行政・民間が保有する地域内外の様々な情報(主に統計情報等)を収集、分析、利活用を容易にする、データ連携基盤を利活用し、地域課題解決等の施策立案を効率化、高度化します。		本市データをシステム連携し利用した回数	0	0	1,000	1,595	1,200	1,607	1,400		1,600		1,800		2,000		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																				実施年度					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-3	データ共有プラットフォーム		ダッシュボードの作成件数					6	6	12		18		24		30			○	⇒	⇒	⇒	⇒						
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	庁内情報管理の高度化	業務効率化3-2-1	庁内情報の整理と配置の見直し	FAQ、グループウェア、ファイルサーバ、例規システムに格納されているデータについて職員が検索しやすいようデータの整理を行います。	対応業務数※整理・移行を実施した業務(分類)数															○	○	○	○								
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-6	業務手順書作成によるBPRの推進	業務手順書作成システムを導入し、全庁的に業務手順書を作成することで、その分析結果からRPAを導入するなどのBPRを行います。	手順書作成数	0	0	0	0	25	26	378		87		106		155		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒						
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	リモートワークに適した環境リブレース推進	職場環境1-a-2-1	PCの台数、スペック、運用の見直し	リモートワーク等の働き方に合わせて、次期調達のPCのスペックや台数を見直します。	PC配布数															○	○	○	○	○	○						
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	オンラインコミュニケーションの環境整備・実証	職場環境1-b-1-1	オンライン共有環境や運用の見直しと拡大(庁内外の連絡のオンライン化)	既に取組を行っているオンライン会議について、より活用を拡大するため、会議室等の設備の見直しや、運用の見直しを行います。	オンラインコミュニケーションの利用率	50%	60%	55%	84.4%	60%	90.9%	80%		90%		100%		100%		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒						
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	オンラインコミュニケーションの環境整備・実証	職場環境1-b-1-2	研修・説明会・視察のオンライン化	既に取組を行っているオンライン会議について、研修・説明会・視察にも活用することでオンラインのコミュニケーションの幅を広げます。	研修等におけるオンライン出席率															⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒						
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	印刷環境の見直し検討	職場環境1-b-3-1	複合機・プリンタの配置見直し	ペーパーレス化と合わせて、プリンタの数を削減するとともに、どこかのフロアでも印刷ができるようプリンタサーバを導入します。	プリンタ設置数					149	149	141		141		116		89			○	○	○	○	○						
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸	職場環境1-c-1-1	スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸調査	リモートワーク用の端末・ネットワークを整備に合わせて、スマートワークの実現に向けた職員の働き方に関する課題(スマートワークが実現できない業務、職員の意識等)の棚卸を行います。	-				実施済	実施済	実施済	実施済		実施済		実施済		実施済		○											
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	スマートワークに適した働き方の見直し	職場環境1-c-2-1	スマートワークに適した働き方の見直し検討	棚卸した課題に対する対応方針を検討し、職員の意識改革や職務内容を見直し等を行います。	-				実施済	実施済	実施済	実施済		実施済		実施済		実施済		○											
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	セキュリティの強化	職場環境1-d-1-1	(庁内情報化基盤管理事業)強靱で利便性の高いセキュリティ対策実施	国が示すセキュリティ対策に従い実施します。	○	-														○	○	○	○	○	○						
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	自治体情報システムの標準・共通化	基幹システムの標準化対応	職場環境2-2-1	基幹システムの標準化	国が示すシステム標準化の指針に従い、基幹システムの標準化対応を行います。	○	標準化対応業務数									19		20		20		...	...	○	○	○	⇒					
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	リモートワークに適したネットワーク・パソコン環境の検討と実証	職場環境1-a-1-1 職場環境1-b-2-2	(庁内情報化基盤管理事業)スマートワーク環境の整備	リモートワーク用の端末・ネットワークを整備し、自宅等の庁外で業務ができる環境を構築します。あわせて、本庁舎にあるサーバをクラウド環境に移行します。	○	リモートワーク利用人数	10	29	108	14	108	26	108		108		108		108		○	○	○	○	⇒	⇒					
行政経営	推進課題	行政経営改革部	推進課題			推進1	ドローンの活用推進		ドローンシェア利用回数	0	0	0	0	19	5	40		40		40		40			○	⇒	⇒	⇒	⇒						

